

# 天下茶屋駅周辺地域のまちづくり検討

## ■西成特区構想の終局的目標

西成区に集約されている少子高齢化や人口減少に代表される本市の様々な課題を解決するために「**まちの活性化・イメージアップ**」、**「若者や子育て世帯の流入促進」**を図る



## ■第三期西成特区構想

三期特区構想  
めざすところ

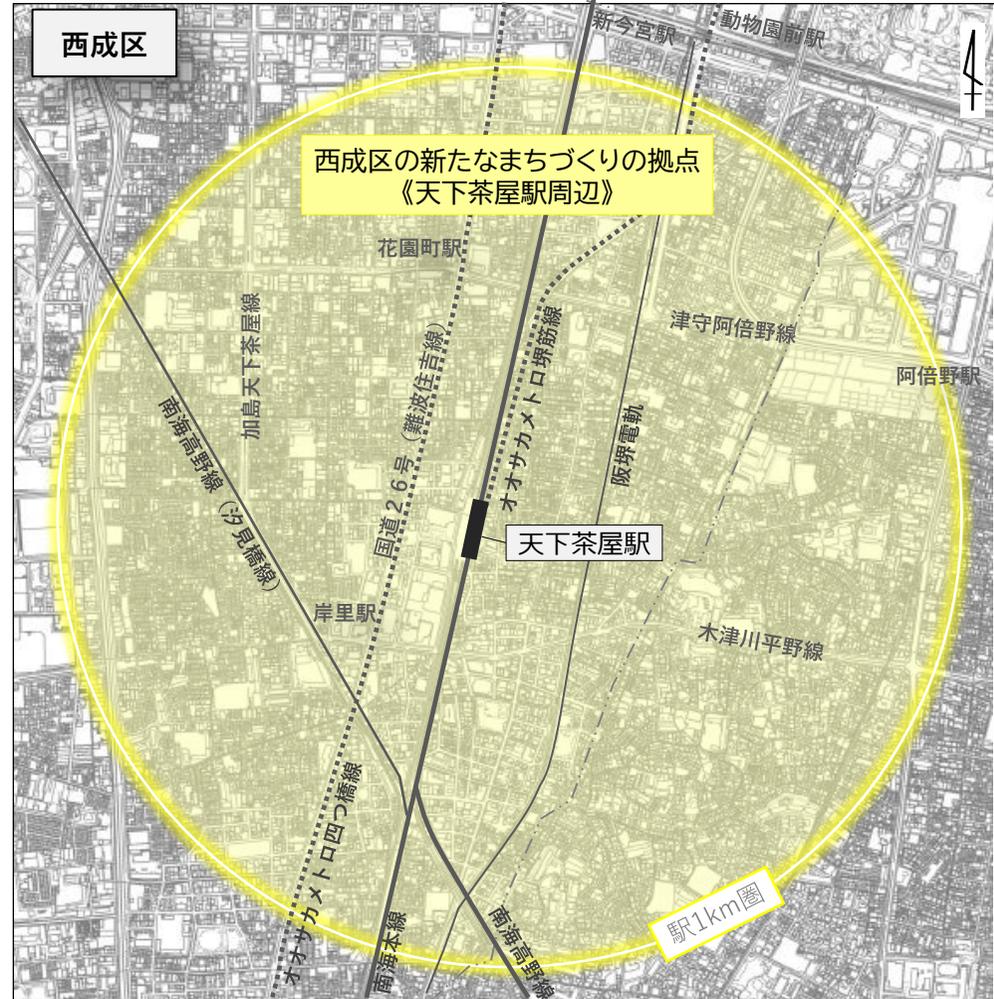
転入のさらなる増加と転出の抑制により、**人口減少に歯止めをかける** とりわけ**「若年層の転入増加」と「子育て世帯の転出減少」**をめざす

まちづくり  
分野

天下茶屋周辺については、2031年のなにわ筋線開通を見据え、**駅前市有地を中心にこのエリアの魅力向上**をめざし、子育て世帯の定住を促進するため、**西成区の新たまちづくりの拠点**になるように検討を進めていく



ソフト・ハード面の取組として、駅前市有地を活用した**「駅前まちづくり」**と**住環境など課題が多い駅東側を中心とした「駅周辺まちづくり」**について取組を進めていく



# 天下茶屋駅周辺まちづくりについて

天下茶屋周辺地域図（駅東側）



## 《天下茶屋駅周辺まちづくり会議》

(会議メンバー) ※R7.12末時点  
 今宮ふれあい地域活動協議会、天下茶屋地域活動協議会、天下茶屋小学校PTA関係者、有識者

R7年度から「天下茶屋エリアのイメージ・魅力を高めるモデル事業」を実施していく

## 《まちづくりワークショップ》 ※R7年度から本格実施

- ・モデル事業の実施に向けて、駅周辺の地域住民や地域団体・事業者などが参加するワークショップを開催 (R6年度：2回、R7年度：3回)
- ・ワークショップにおいて、天下茶屋の魅力の掘り起こし、やってみたいことのアイディア出しなどを行った

## 《まちづくり実行委員会》 ※R7.8.27に立ち上げ

- ・より具体的に検討を進めるため、ワークショップに参加した方などを中心に、有志で実行委員会を組成
- ・R7年度はワークショップで出た意見などをもとに、具体的に検討・作業のうえ、まちづくり実行委員会・西成区主催での社会実験イベントを実施

天下茶屋エリアの地域特性・課題

- ・「商店街や特色ある店舗」、「下町情緒が残るまちなみ」
- ・天下茶屋の由来となった「歴史・文化」

⇒ 地域資源があるにもかかわらず、天下茶屋エリアの魅力が広く認知されていない状況

- ・区人口の半数が居住、1日15万人の乗降客数
- ・大阪都心直近、なにわ筋線開業のポテンシャル

⇒ 駅利用者がまちに回遊することなく、乗り換えに限定した利用が多い状況

- ・各団体の担い手の世代交代が停滞気味
- ・外国人住民や特区民泊の増加

⇒ 次世代のまちの担い手不足、増加する外国人住民との関係づくりが難しい状況

◆ ソフト面のまちづくりの取り組み

まちの認知拡大や関係人口の増加などから、空き家の活用、新たな雇用、住まいの需要が生まれるといった好循環をめざすきっかけとして、令和7年度から、エリアの「魅力コンテンツ」を掘り起こし、ファンを広げる「エリアブランディング」の取組を展開

この取組を通じて、ハード面における地域課題の情報収集をはじめ、駅前まちづくりへの波及や機運づくりにも連動

R7年度から実施している「天下茶屋エリアのイメージ・価値を高めるモデル事業」の取組概要

① エリアのイメージ発信

魅力的に映るエリアのイメージ向上  
・認知拡大に向けた取組

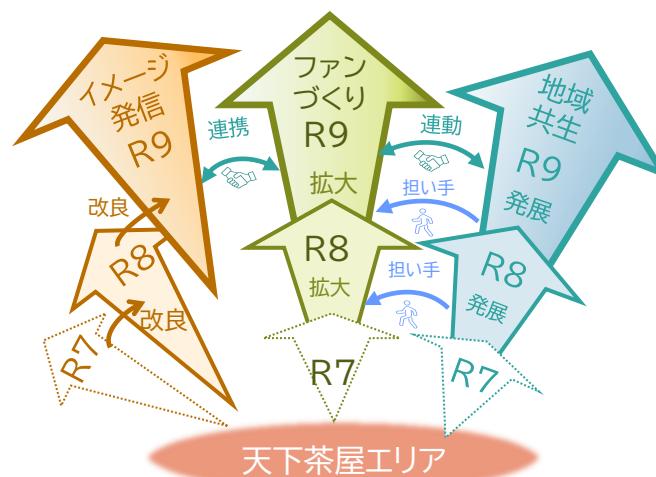
R7年度  
イメージ発信・ファンづくりの取組、官民の協働体制構築

R8～9年度  
各種取組の改良・発展、効果検証、持続可能な仕組みづくり  
(区支援のもと「地域の住民・商店等が主体」の取組)

R10年度～  
更なるイメージ・価値向上に向けた各種取組の拡大、発展  
駅前まちづくりの展開も見据えながら、民間主体の自律的な取組をめざす

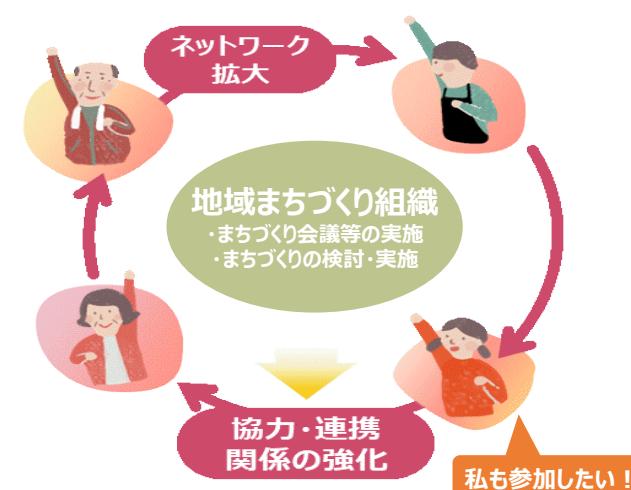
② エリアのファンづくり

魅力あるエリア形成に向けた  
ファンづくりの取組



③ 地域共生

地域内の関係強化、持続可能なまちづくりの体制・仕組みの構築に向けた取組



今ある資源を磨き・活かす + 新たな動きを創る

連携強化・ネットワーク拡大により、活動の輪を広げる

めざすまちづくりへのポジティブスパイラルを創出

最終目標: 子育て層が、天下茶屋エリアを選び、住みたい・住み続けたい街に  
⇒ 区の人口を支えるエリアになることをめざす



※本資料は令和7年度の取組状況等を伝えるための参考資料であり、公募型プロポーザルによる提案内容を誘導又は制限するものではありません。

天下茶屋エリアのイメージと価値を高めるモデル事業

取組中

アプローチ

『食』や『お店』にフォーカス + 『地域の人』にフォーカス

取組状況等

① エリアのイメージ発信

・ 雑誌メディアと連携した情報発信

Meets Regionalとタイアップした、雑誌掲載企画(2頁)、飲食店紹介冊子(8頁)、ポスター制作

・ トレーディングカードを活用した情報発信

天下茶屋の『人』などをカード化し、まちの回遊性を誘発  
※下記トライアルイベントで試行実施



冊子(おいしい天下茶屋)(トレーディングカード)

・ 駅、SNS等でのプロモーション

各鉄道(南海、メトロ、阪堺)の主要駅やSNS等でのプロモーション

② エリアのファンづくり

・ トライアルイベント(てんがちゃん)の実施

【開催期間】 2025年11月19日(水)～23日(日) ※11月19日～21日は駅コンコースでのプレ開催

【開催場所】 天下茶屋駅コンコース・駅前広場、天下茶屋小学校、北天下茶屋公園

【開催内容】 PRブース・スタンドバー(駅コンコース・駅前)、トレカ収集(駅東側一帯)、職業体験・カード遊び・縁日・キッチンカー(北天下茶屋公園)、楽器演奏体験・交響楽演奏・子ども遊び(天下茶屋小学校)

【参加者】 地域の方を中心に約900名が参加

【実施主体】 天下茶屋駅周辺まちづくり実行委員会、西成区役所

③ 地域共生

・ まちづくりワークショップの開催

【開催回数】 計5回(R6:2回、R7:3回)

【参加者層】 地域住民、地域団体、周辺事業者など

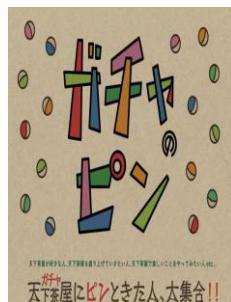
・ まちづくり実行委員会の開催(R7.8.27立ち上げ)

【開催回数】 計7回(R7.12月末時点)

【メンバー】 地域住民・団体、周辺事業者などワークショップ参加者有志

・ 将来のまちづくり体制の検討

天下茶屋駅周辺まちづくり会議を開催、意見聴取



(ワークショップのチラシ)

④ 課題解決事業等

・ 地域課題等の解決に向けた取組 **検討中**

駅東側エリアにおける空き家・空き地など、不動産の利活用促進等に繋がる取組の企画・実施

これまでの取組を通じて ~ふりかえり~

① エリアのイメージ発信

■ 成果

- ・エリアの魅力発信や認知拡大に寄与した
- ・駅など、冊子配架場所の利用者の多くにアピールできた

■ 今後の発展性

- ・広く地域魅力を紹介する情報発信 (より区内、区外居住者などにエリアの魅力を伝える)
- ・SNS等を活用した継続的な情報発信、より地域を巻き込んだ情報発信

② エリアのファンづくり

■ 成果

- ・地域にとって、天下茶屋における新しい動きとして受け止められた
- ・イベントに参加・協力した地域の方々や店舗、民間事業者等との関係性が築け、次の開催に繋がるきっかけとなった
- ・PRブースは多くの駅利用者の目に映り、興味・関心を引くことができた
- ・体験型イベントやトレカを使ったまち歩きへの満足度は高かった

■ 今後の発展性

- ・地域住民や店舗などにより広く参加・協力を呼びかけるイベントづくり
- ・地域住民はもとより、駅利用者など、多様な来街者との交流・参加に繋がるイベントづくり
- ・取組の意義やコンセプトが、よりわかりやすく伝わるイベントづくり

③ 地域共生

■ 成果

- ・地域の方々や事業者との関係性強化や、まちづくり実行体制の土台ができた
- ・各取組を通じてエリアの現状や官民連携によるまちづくりの必要性を共有した

■ 今後の発展性

- ・まちづくりの活動の輪を拓げる連携体制・ネットワークの強化  
(まちづくり実行委員会に様々な方が参加・協力、より気軽に意見を聞ける仕組みの検討等)
- ・持続可能なまちづくりの仕組みの検討
- ・まちづくりの取組内容やこのエリアがめざす大きな方向性の見える化